

スズキ、大型二輪車新型「GSX-S1000GX」、 新型「GSX-8R」を発表



新型「GSX-S1000GX」



新型「GSX-8R」

スズキ株式会社は、11月7日から12日^{※1}までイタリア・ミラノで開催されている二輪車ショー「EICMA 2023(ミラノショー)」において、クロスオーバーバイクの**新型「GSX-S1000GX」**およびスポーツバイクの**新型「GSX-8R」**を発表しました。**新型「GSX-S1000GX」**は2023年12月より、**新型「GSX-8R」**は2024年1月より欧州・北米を中心に全世界で順次販売を開始します。

※1 プレスデー:11月7～8日、一般公開日:11月9～12日

●新型「GSX-S1000GX」

新型「GSX-S1000GX」は、スポーツツアラーとアドベンチャーを融合させたクロスオーバーバイクです。「GSX-S1000」シリーズのエンジンを採用することで、スポーツライディングに必要な動力性能を継承しつつも、ツーリング性能を向上させる新技術と装備を採用しました。スタイリングは、スポーツバイク並みの性能を体現したアグレッシブな外観シルエットに、ツーリングでの快適性を追求したアップライトな乗車姿勢をモダンに組み合わせたデザインとしました。

速度や路面状況、ブレーキによる車両の姿勢変化に応じて、サスペンションの減衰量やプリロードを電子制御するスズキアドバンスドエレクトロニックサスペンション(SAES)をスズキの二輪車として初採用しました。さらにこのSAESに、IMU等のデータを組み合わせることで、凸凹路面を検知し、サスペンションの制御量を自動で切り替えるスズキの独自プログラム、スズキロードアダプティブスタビライゼーション(SRAS)を開発・搭載しました。これにより、未舗装路での振動を抑えたスムーズな乗り心地と、オンロードでのダイナミックなスポーツ走行の両立が可能となりました。

また、出力特性、トラクションコントロールレベル、SAESの減衰設定を統合管理するSDMS- α や、コーナーに傾いたときにもABSを作動させることができるモーショントラックブレーキシステム等の多彩な電子制御機能を採用することで、シチュエーション、路面状況、ライディング歴などに左右されない、高い知性とパフォーマンスを気軽に使いこなすことができるクロスオーバーバイクに仕上がりました。

主な装備と諸元

GSX-S1000GX		内容	概要
装備	S.I.R.S. (スズキインテリジェント ライドシステム)	SDMS- α (スズキドライブモードセレクト α アルファ)	出力特性(3段階)、トラクションコントロール(7段階+オフ)、 電子制御サスペンション減衰量(4段階)を統合管理
		SRAS (スズキロードアダプティブスタビライゼーション)	路面状況を検知し、サスペンションの制御量を自動切替え
		オートマテックリヤサスペンションモード	リヤサスペンションのプリロードを電子制御。オートと3つのマニ アルモードから選択可。オートを選択すればさらに減衰量も調整。
		電子制御スロットル	
		双方向クイックシフトシステム	クラッチやスロットルを操作せずにシフトアップ/ダウンが可能
		スマートクルーズコントロール	スロットル操作不要で速度を維持したままシフトアップ/ダウンが可能
		モーショントラックブレーキシステム	コーナーへの傾斜時にABSを作動させ、意図したラインのトレースを支援
		スロープディペンデントコントロール	下り坂でのブレーキング時にリヤタイヤのリフトを抑制
	スズキキージースタートシステム	クラッチレバーを引かずにワンプッシュでエンジン始動が可能	
	ローRPMアシスト	発進時や低速走行時のスムーズな発進を補助	
サスペンション	スズキアドバンスドエレクトロニックサスペンション	サスペンションを電子制御	
メーター	6.5インチフルカラーTFTマルチ インフォメーションディスプレイ	スマートフォン接続可。白黒反転自動/手動選択可	
ウインドスクリーン		3段階の高さ調整可	
その他	浮動式ハンドルバー/ミラー、ナックルカバー、リヤ キャリア、昇温抑制機能付き用品シート等		
諸元	全長×全幅×全高(mm)	2,150×925×1,350	
	ホイールベース(mm)	1,470	
	最低地上高(mm)	155	
	シート高(mm)	845	
	装備重量(kg)	232	
	タイヤ(前)	120/70ZR17M/C チューブレス	
	タイヤ(後)	190/50ZR17M/C チューブレス	
	エンジン型式	999cm ³ 水冷4サイクル 直列4気筒DOHCエンジン	
	タンク容量(L)	19	
	燃費(km/L、WMTC)	16.1	
	CO ₂ 排出量(g/km、WMTC)	144	

●新型「GSX-8R」

新型「GSX-8R」は、ライダーの年齢やスキルを問わず、街中からワインディング、サーキットまで多様なライディングを楽しめるスポーツバイクです。各国で高い評価を得ている GSX-8S をベースに、スポーツライディングに適したカウリングやセパレートハンドルを装備しました。歴代のスズキのスポーツバイクのヘリテージをデザインに込め、エンジンやシートレールを露出させることで機能美を演出し、新時代的で斬新なデザインとしました。776cm³ 直列 2 気筒エンジンとそれに合わせて設計されたフレーム、大型ピストンを備えたサスペンションにより、日常使いやスポーツ走行、ツーリングにも適したモデルとしました。

主な装備と諸元

GSX-8R		内容	概要
装備	S.I.R.S. (スズキインテリジェント ライドシステム)	SDMS (スズキドライブモードセレクト)	出力特性を3モードから選択可能
		STCS (スズキトラクションコントロールシステム)	リヤホイールの空転が感知された時に、エンジン出力を制御
		電子制御スロットル	
		双方向クイックシフトシステム	クラッチやスロットルを操作せずにシフトアップ/ダウンが可能
		ABS	
	スズキキージースタートシステム	クラッチレバーを引かずにワンプッシュでエンジン始動が可能	
	ローRPMアシスト	発進時や低速走行時のスムーズな発進を補助	
フロントサスペンション	SHOWA SFF-BP ^{※2}		
メーター	5インチカラーTFTマルチ インフォメーションディスプレイ		
その他			
諸元	全長×全幅×全高(mm)	2,155×770×1,135	
	ホイールベース(mm)	1,465	
	最低地上高(mm)	145	
	シート高(mm)	810	
	装備重量(kg)	205	
	タイヤ(前)	120/70ZR17M/C チューブレス	
	タイヤ(後)	180/55ZR17M/C チューブレス	
	エンジン型式	776cm ³ 水冷4サイクル 直列2気筒DOHCエンジン	
	タンク容量(L)	14	
	燃費(km/L、WMTC)	23.8	
CO ₂ 排出量(g/km、WMTC)	99		

※2 SFF-BPIは日立Astemo株式会社の登録商標です。